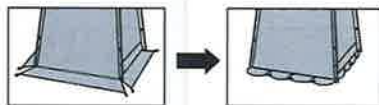


■ お手入れ方法 間違っただお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考してください。

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干して乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、レインフライなどの撥水性能(水を弾く力)が低下した場合は市販の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。生地を傷める恐れがあります。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、ローソクの口を塗ると回復します。
- ポールやベグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。ポールは接合部のみ、塗布します。
- 設営中の清掃の際は、テント本体の下部(入口面を除く3面)をトグルでまとめることができます(右図)。



背面

■ 保管方法

- 本製品を長期間使用せずに保管する場合は、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法は住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違っただお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

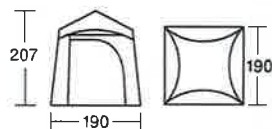
破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様

○ 寸法

※図中の単位はcmです。

品番: 1622107
品名: 災害トイレ用テント 車椅子対応型



○ 素材

- キャンビー: 75デニール・ポリエステル [ウレタン シルバーコーティング]
- フライシート: 68デニール・ポリエステル [ウレタン・コーティング]
- ポール: スチールワイヤー・ショックコードつき

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、スペックには誤差が生じる場合があります。

販売元: 日之出水道機器株式会社
本社 福岡市博多区堅粕5-8-18 (ヒノデビルディング) (092)476-0595
本製品に関するお問い合わせは日之出水道機器の各営業所又は上記電話番号までお願いします。
(お近くの営業所は日之出水道機器ホームページ<http://hinodesuido.co.jp>の会社情報/拠点情報よりご確認ください)
製造元: 株式会社 **モンベル**

mont-bell

取扱説明書

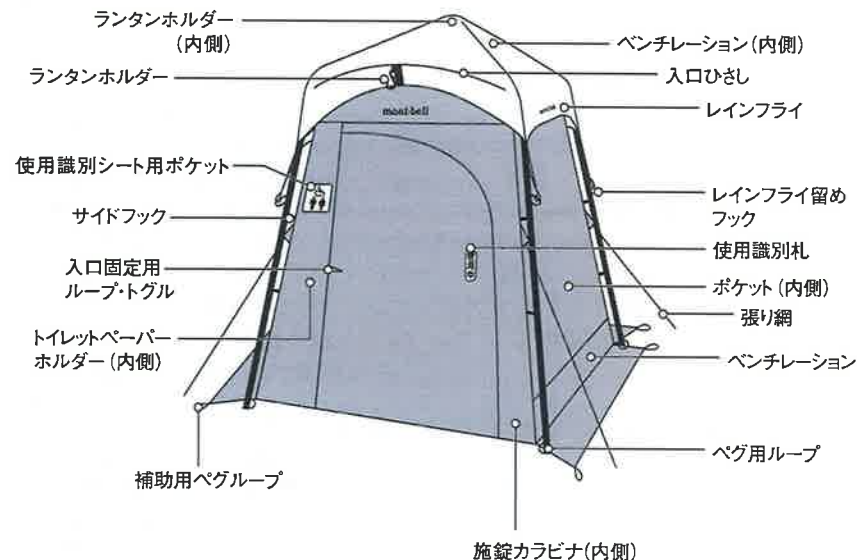
災害トイレ用テント 車椅子対応型

Emergency Toilet Tent (Wheelchair compatible)

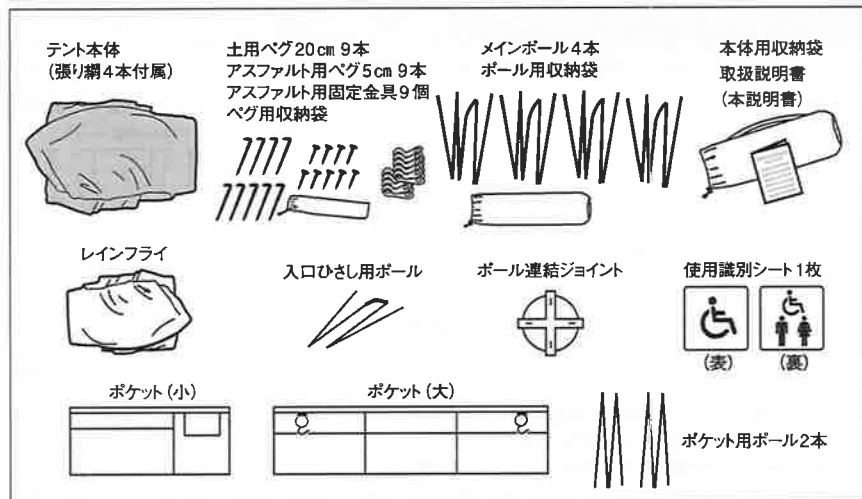
この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。本説明書は大切に保管してください。

本製品は、災害時にマンホールの上に設営して使用する災害トイレ用テントです。

■ 各部の名称



■ 同梱品



■ 安全上の注意 必ずお読みください

危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品はマンホールの上に設置し、排泄物を下水に流すことを目的とした災害トイレ用テントです。設置場所については、管理担当者の指示に従ってください。
- 本製品内や本製品の近くでは、絶対に火気を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒の恐れがあります。
- 出入り口やベンチレーションを開け、換気に充分ご注意ください。
- 台風、落雷、強風、豪雨、大雪などの厳しい自然条件の際は、管理担当者の指示に従い安全な場所に避難してください。
- アスファルト用ペグを打ち込む際は、保護メガネやゴーグルなどで目を保護してください。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品を設置される際は、周囲の環境や気象条件などを充分考慮し、安全を確認してください。
- 出入口は風下側を選び設置してください。強風で本製品が飛ばす恐れがあります。
- 本製品の設置の際は水はけがよく、できるだけ平らな場所を選んでください。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、十分に性能が発揮できない恐れがあります。
- 使用前は毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できない恐れがあります。

注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 高い建物や大木の近く、広い敷地での設置は落雷に注意してください。
- 使用の際は必ずペグなどで張り綱で固定してください。砂地や雪上では付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ設置する場所の地面の状態を確認してください。
- 本製品は太陽光線の紫外線により生地が劣化します。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- 本製品に慣れるため、必ず事前に試し張りを行ってください。
- 各パーツや付属のペグには鋭利な部分があります。取扱いにご注意ください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- ポールをフックに吊るしテント本体を立ち上げる際はポールの跳ね返りに注意してください。
- 小さいお子さまにポールの組立てや、ペグ打ちの作業をさせないでください。
- 破損したポールを使用するとテント本体などを傷つける恐れがあります。破損した場合は破損した鋭利な部分をヤスリ等で滑らかに削るか、弊社までご連絡ください。
- ポールを組み立てる際は、各節を完全に奥まで差し込んでください。奥まで差し込まないとポールが破損する恐れがあります。また、指を挟まないようにしてください。
- ポケット(大)(小)に2kg以上の物を掛けしないでください。破損の原因になります。

■ 使用前の点検

- ポールに亀裂などの破損がないか
- 生地に破れがないか

■ 使用方法

組み立ては、2人以上で行ってください。

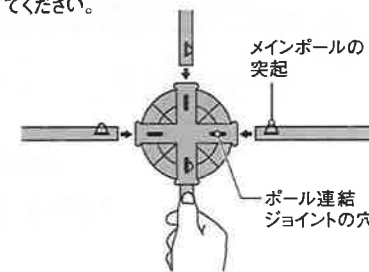
○ 組み立て方法

1. テント本体の組み立て

①メインポールにある突起を指で押しながらポール連結ジョイントに差し込みます。メインポールの突起をポール連結ジョイントの穴にしっかりとめめます。

※メインポールの突起にねじるような力を加えると変形することがあります。組み立ての際は2人以上でポールを支えながら組み立ててください。

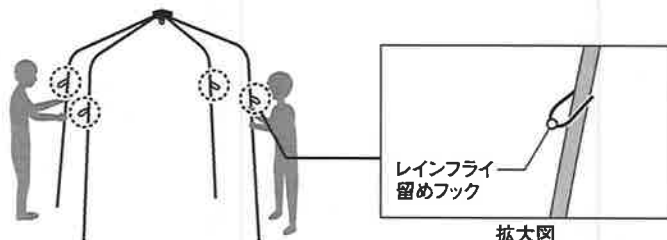
※指を挟まないよう注意してください。



- ②メインポールの中に通っているワイヤー・ショックコード通りにジョイントを接続し組み立てます。
 ※ショックコードを必要以上に伸ばさないように注意してください。
 ※このとき、ポールは最も長い状態となりますので、周囲に障害物や人が居ないかを確認してください。



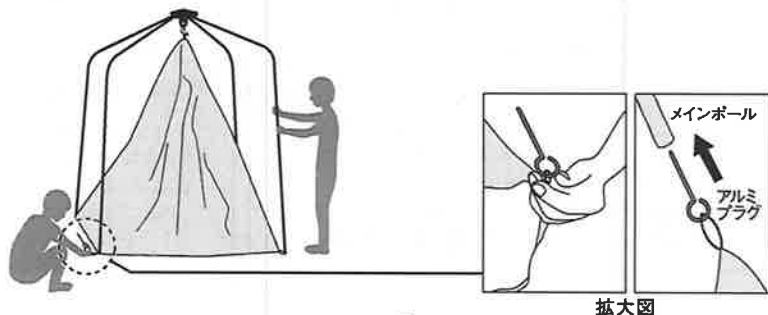
- ③2人以上でポールを支えながら、4本のメインポールを立てます。このとき、メインポールに付いている4ヶ所のレインフライ留めフックがテントの外側を向くように立てます。



- ④テント本体の天頂部のフックがねじれないようにポール連結ジョイントに引っ掛けます。

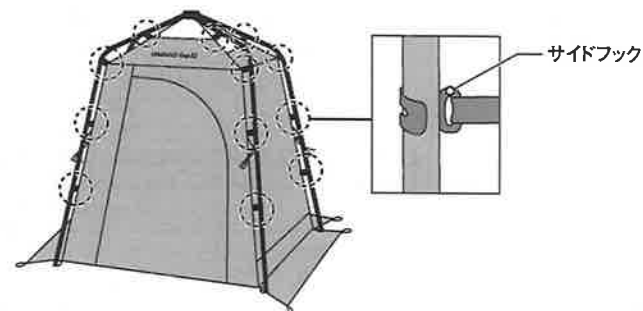


- ⑤メインポール底面にある穴に、テント本体下部の四隅に付いているアルミプラグを差し込みます。テントを自立させます。



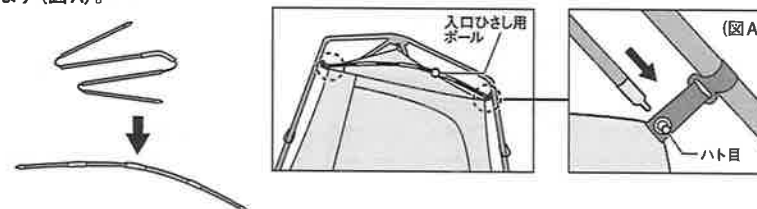
4

- ⑥テント本体に付いているサイドフックを上から順にメインポールに引っ掛けていきます。

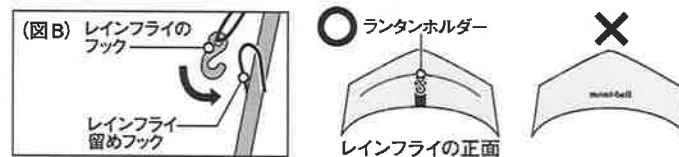


2. レインフライの取り付け

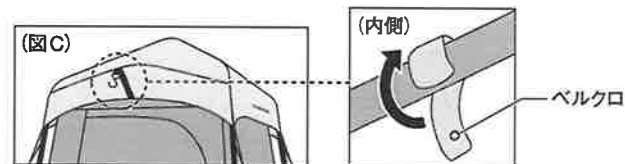
- ①レインフライの入口ひさし用ポールを組み立て、テント本体の入口上部の左右にあるハト目に差し込みます (図A)。



- ②レインフライに付いているランタンホルダーが入口正面にくるようにしてテント本体にかぶせ、レインフライのフックをメインポールのレインフライ留めフックに引っ掛けます (図B)。



- ③レインフライのひさし用ポールをレインフライの入口上部裏にあるベルクロで巻き付け、内側から固定します (図C)。

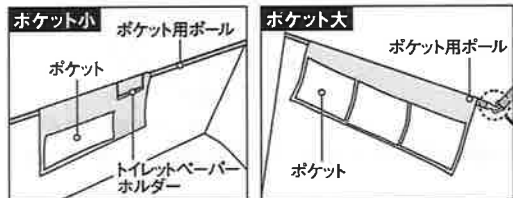


5

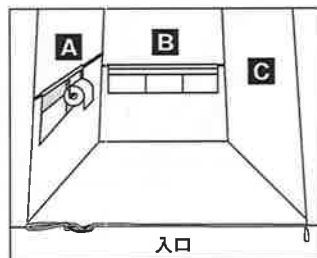
3. ポケットの設置

○ポケットは大・小各1個が同梱されています。右図 **A B C** の3つのお好きな面に取り付けてください。(図は **A B** の2面に取り付けた状態です)

○ポケット用ボールを組み立ててポケットに通し、ボールの端を固定金具に引っ掛けることでポケットが固定します。



※ポケット小・大は2kg以上の物を掛けしないでください。破損の原因になります。



4. テントの固定

テント本体の四隅、および入口ジッパー下端に設けられたベグ用ループをベグ留めます。アスファルト用固定金具は、必ず右図の向きになるようにしてください。

※ベグはアスファルトなど地盤の固い時と土など地盤のやわらかい時用の2種類があります。状況に合わせて使い分けてください。

※ベグで留める際は、ベグをこれ以上打ち込めない深さまで、打ち込んでください。

※アスファルト用固定金具の上下の向きを間違えると上手く打ち込めません。また、破損の原因になります。



ベグ用ループと張り綱の位置

ベグ用ループと張り綱は、右図の位置でベグ打ちをします(計9箇所)。



5. 張り綱の固定

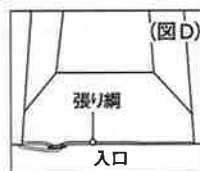
張り綱は風が吹くことを想定して必ず取り付けてください。付属の張り綱はランナー(自在金具)がついており、ランナーを通したループをベグに掛けて長さを調節します。



入口足元の張り綱が弛まないように、ランナーで長さを調節します。張り綱に弛みがあるとフレームが必要以上に開き、入口ジッパーが閉まらないことがあります(図D)。

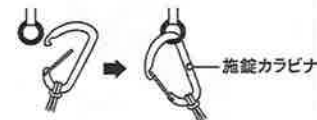
※但し、テントの固定後に入口足元の張り綱がつまづきの懸念となる場合は取り外してください。

※調節の際は、必ず入口ジッパーを開けて行ってください。



6. 施錠方法

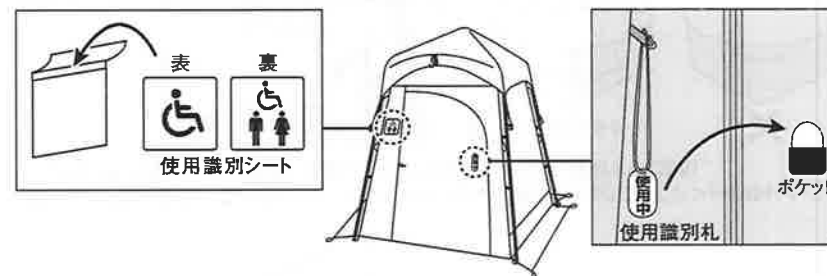
入口面の内側下部のリングに、入口ジッパーに付属の施錠カラビナを引っ掛けることで施錠することができます。



7. 使用識別札・識別シート

○使用の際は、内側からジッパーを閉め、使用識別札を入口面にあるポケットに入れます。外側から識別札が見えるため、使用中であることを掲示できます。

○使用識別シートを入口面にあるポケットに入れてください。



8. ランタンホルダー

入口上部とテント内の天頂部にランタンなどを吊るせるランタンホルダーが付いています。



○収納方法

①ベグを抜きます。

※ベグを引き抜く際は直接手で握らずに張り綱等引っ掛けて抜いてください。ベグには鋭利な部分があり、直接手で握るとケガをする恐れがあります。アスファルト用ベグを抜く際は、ボールを用いて抜いてください。

②レインフライを外します。

③室内のポケット、及び入口ひさし用ポールを外します。

④メインポールからテント本体のサイドフックを外します。

⑤メインポール底面に差していたテント本体のアルミプラグを抜き、テント本体を天頂部のフックから外します。

⑥ポール連結ジョイントからメインポールを抜き、ポールを折りたたみます。

⑦収納袋の幅にテント本体を畳み収納します。その際、ベグは必ずベグ用収納袋に入れてください。そのまま収納すると本体生地を傷つけることがあります。